

高周波平板熱処理機を開発

対話型ナビで使いやすさ追求

山本ビニター

山本ビニター(大阪市、山本泰司社長)は、新開発の高周波熱処理平板化装置「REFIX-8」を公開した。近年需要が増加する一枚板を高周波による熱処理で軟化させ、平板化する技術を「対話型ナビゲーション」により誰でも操作できるようにした。加圧部も従来の30tプレスからエア式の3tに小型化、制御しやすいものにした。同社では「誘電加熱」の自動設定レベルを社内では、2030年には高度自動設定を目指している。今回のREFIX-8は、5段階評価の2.5の位置付けだ。

同社は高周波による誘電加熱技術を使い、木材加工・乾燥、食品関連、医療関連、プラチック加工など幅広い分野で事業を展開している。

高周波熱処理平板化



REFIX-8でケヤキの板を高周波で軟化させて平板化する様子

で機械も大型化している。新機種では、おおよその比重、含水率、サイズなどを入力し、投入熱量を想定し、センサーで厚みの変化、湿度などを見ながら、電圧を調整して目標値に近づけていく。

処理を終えたデータはSDカードに記録し、将来的にはデータ蓄積してAIによる自動設定(レベル4以上)につなげていきたい考えだ。

電極の昇降にはエア

**300年生以上の
オールドグロス**

- 長尺材(15mまで)
- 神社仏閣材
- 幅広い造作材
- プレーナー仕上げ可

**注ピヤニ抜き乾燥
文ラ材**

(株)田中製材所

本社 千葉県柏市中新宿1-5-3
TEL.04-7174-3025
FAX.04-7176-0428

電ヶ崎工場 電ヶ崎市北方町2112
TEL.0297-64-3261
FAX.0297-64-1440

林野庁は9月29日、2022年の木材需給表を公表した。22年の総需要量は8509万4000立方尺(前年比3.6%増)で、2年連続の増加となった。製材、合板、パルプ・チップ用材はほぼ横ばいだが、燃料材が前年比18%増と2年連続で大きく伸びた。燃料材は国産が約10%増、輸入が32%増加。そのため総需要の国内生産は13年連続で増加した。ただ輸入燃料材が2年連続で30%増となったため、木材自給率は40.7%と2年連続で減少した。

木材需給表は木材需給(国内消費量)を、計調査や貿易統計などと輸出量)と木材供給(国内生産量と輸入量)を基に、木材需給を丸太換算して算出する。

輸入燃料材が2年連続3割増

木材自給率は辛うじて4割台

林野庁 22年の木材需給

年以來16年ぶりになる。内外産の燃料材が1739万立方尺(同18%増)、265万立方尺増となり、この増加量が総需要量の増加量の大半を占めている。21年は持ち家の住宅着工が同約10%増となり、建築用材(製材・合板)の需要量も約10%増加した。また21年

木材需要量の推移 単位:1,000m³

	2018	19	20	21	22	
総数	総量	82,478	81,905	74,439	82,130	85,094
	国産	30,201	30,988	31,149	33,721	34,617
製材	総量	25,708	27,619	24,597	26,179	26,263
	国産	12,563	12,875	11,615	12,861	12,937
合板	総量	11,003	10,474	8,919	10,294	9,820
	国産	4,492	4,745	4,195	4,661	4,912
パルプ・チップ	総量	32,009	31,579	26,064	28,743	29,547
	国産	5,089	4,651	4,420	4,744	4,563
燃料材	総量	9,020	10,386	12,805	14,742	17,390
	国産	6,248	6,932	8,927	9,348	10,264
建築用材の総需要量		36,711	38,093	33,516	36,473	36,083
非建築用材の総需要量		45,768	46,162	40,923	45,657	49,011
※輸入は総量から国産を引いた数字。建築用材は製材と合板製品の合計。非建築用材はパルプ・チップと燃料材、その他用材としていたけ原木の合計						

春からのウッドショックにより製材・合板製品が不足し、数量を補おうとする動きから22年も建築用材の需要量は横ばいで推移した。そのなか21年から輸入燃料材が大きく伸びた。

始めた。21年の輸入燃料材は同39%増の539万立方尺、22年は同32%増の713万立方尺と増加した。また国産燃料材も21年の同約5%増(935万立方尺)に対し、22年は同

処理できるだろう」と話している。

同機種は5日から名古屋で開催される日本木工機械展に出品される予定だ。価格は約2000万円。年間10基の販売を目指している。

国内生産量(34602万立方尺)の内訳は用材丸太70%、燃料材30%。輸入量(約5000万立方尺)の内訳は用材丸太7%、製材品20%、合板等9%、木材パルプ10%、用材チップ等40%、燃料材14%になる。

約10%増(1026万立方尺)と、燃料用チップとしては初めて1000万立方尺を超えた。

輸入燃料材の80%が建築用材等(製材、合板)の総需要量は3608万立方尺(同1.1%減)で、自給率は49.5%(同1.5%増)と増加した。非建築用材等(パルプ・チップ、燃料材など)は4901万立方尺(同7.3%増)で、自給率は34.2%(同1.3%減)。

総需要量(8500万立方尺)に占める国内消費量(8200万立方尺)の内訳は、製材用材32%、合板用材12%、パルプ・チップ用材35%、燃料材21%。総供給量(8500万立方尺)のうち、国内生産量(34602万立方尺)の内訳は用材丸太70%、燃料材30%。輸入量(約5000万立方尺)の内訳は用材丸太7%、製材品20%、合板等9%、木材パルプ10%、用材チップ等40%、燃料材14%になる。

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
https://jfpj.jp/
eメール info@mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2023
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。



JAS認定工場

国産材杉・枕木ポツポ

佐々木木材防腐株式会社

群馬県前橋市下大島町57の2
TEL027(266)13324

好評発売中

主な記事

- ▽3面 首都圏商況 忙しきは一時的か
- ▽4~5面 国産材原木商況 杉1万円的地域目立つ
- ▽6面 日本木青連 林野庁と意見交換

SEIHOKU

セイホクグループは
年間700万m²の国産材を活用(HWP)し
合板の炭素貯蔵力で地球の未来を笑顔にします

700!

合板

セイホク株式会社
東京都文京区本郷1-25-5 TEL:03(3816)1031 FAX:03(3814)8299
宮城県石巻市重吉町1-7 TEL:0225(22)6511 FAX:0225(95)5867

西北プライウッド株式会社
宮城県石巻市重吉町1-7 TEL:0225(22)6511 FAX:0225(95)5867

秋田プライウッド株式会社
秋田県秋田市川尻町字大川反232 TEL:018(823)8511 FAX:018(862)1513

新秋木工業株式会社
秋田県秋田市向浜1-8-2 TEL:018(823)7265 FAX:018(864)8397

ホクヨープライウッド株式会社
岩手県宮古市磯崎2-3-1 TEL:0193(62)3333 FAX:0193(63)3664

株式会社カリヤ
岩手県宮古市列屋13-11-2 TEL:0193(72)2255 FAX:0193(72)3107

北上プライウッド株式会社
岩手県北上市和賀町後藤2-112-1 TEL:0197(73)5500 FAX:0197(73)5505

森の合板協同組合
岐阜県津川市加子母5371-17 TEL:0573(79)5120 FAX:0573(79)5121

松江エヌエル工業株式会社
島根県松江市八束町江島1376-2 TEL:0852(76)3730 FAX:0852(76)3900

新栄合板工業株式会社
熊本県水俣市袋赤岸海50 TEL:0966(63)2141 FAX:0966(63)2145

ファミリーボード株式会社
東京都文京区本郷1-25-5 TEL:03(3816)3366 FAX:03(3816)3699

アイプライ株式会社
秋田県秋田市川尻町字大川反232 TEL:018(823)0511 FAX:018(863)8452

https://www.seihoku.gr.jp/
https://www.aplywood.co.jp/